



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 26 日

1. 出張国名 ブラジル
2. 出張月 平成 26 年 11 月
3. 出張目的 ダイズ圃場生理学実験手法及び温室における生理学実験の調査等：B

4. 成果の概要

JST地球規模課題対応国際科学技術協力事業「地球環境悪化に対応した作物の分子育種技術の開発」の研究を推進するため、ブラジル・パラナ州・ロンドリーナにあるブラジル農牧研究公社（Embrapa）ダイズ研究所において、これまでに得られた研究成果について協議するとともに、実験施設、温室、隔離圃場における研究実施状況を視察した。

また、Embrapaダイズ圃場土壌の生理学的なパラメーター測定技術の修得、隔離温室でのダイズ栽培生理実験条件の調査を行った。さらに、今期10月から11月にかけて発生した干ばつの被害状況の調査を実施した。具体的には、ロンドリーナ周辺およびロンドリーナ南東部 Maua da Serra地区やVentania地区の農協組合、大規模農家、小規模農家を訪問し、農家の方から干ばつ被害を受けたダイズの生育状況や被害の実態、ダイズ栽培の生産コストや直面する問題点等についての情報収集を行った。